



まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



1/5



幕別町消防団出初式

防災・防火の意識新たに

町民会館で幕別町消防団(八巻省三団長、団員143人)の出初式が行われました。八巻団長は「消防団に期待される役割はますます大きい。その重責をいま一度深く認識し精進を」と訓示しました。また、消防に貢献した団体・個人が表彰を受けました。



12/27



忠類保育所

おいしいお餅を召し上げれ！

毎年恒例のお餅つきが開催されました。はじめに先生が手本として餅つきを披露したあと、園児たちは大きな臼を囲み、元気よく「よいしょー！」と声を出しながらお餅つきを体験。

おいしいお餅ができるよう、一人ひとりが力いっぱい杵を振り下ろしました。



12/19



飯田町長 丸田 耕志さん 久美子さん(妻)

叙勲伝達

永年の功績をたたえて

元幕別町消防団分団長の丸田耕志さんが瑞宝単光章を受章しました。

丸田さんは昭和50年から令和3年3月までの45年11カ月もの間、幕別町消防団忠類分団の一員として活動してこられました。平成27年から副分団長、平成31年からは分団長を務め、消防団員の育成強化に尽力するなど、永年にわたる消防活動への貢献が認められました。

12/15



飯田町長 梶川 憂乃さん 久保 睦則 校長

中学生の「税についての作文」表彰

税の正しい知識と関心を

中学生の「税についての作文」の表彰が行われました。身近に感じた税に関すること、テレビや新聞で知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち、正しい理解を深めてもらうため、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が毎年実施しています。

帯広地区納税貯蓄組合連合会会長賞を島梨々香さん(幕別中3年)が、幕別町長賞を梶川憂乃さん(札内中3年)、桑原大慈さん(忠類中3年)が受賞しました。

審査結果

「子どもの権利」絵画コンテスト

町内の小学生を対象として、「子どもの権利」について考えていただくための絵画コンテストを実施しました。「将来の夢」や「頑張っていること」など、さまざまなテーマで186人のみなさんから素敵な作品が寄せられました。豊かな発想で描かれた力作の中から、入選作品を決定したので紹介します。

審査の結果、最優秀賞には白人小学校の中野心結さんの作品が選ばれ、優秀賞には5作品が選ばれました。なお、入選した作品は、町ホームページで紹介します。

応募いただいたみなさん、ありがとうございました。

▶最優秀賞 中野 心結さん(白人小3年生)
「元気にしてくれるクマ」

▶優秀賞

小倉 あおいさん(古舞小6年生)「将来の夢」
佐伯 怜哉さん (古舞小5年生)「命があるかぎり、けんりはある」
茂木 麗奈さん (幕別小5年生)「笑う自分」
後藤 陽多さん (白人小3年生)「楽しかったパークゴルフ」
加須屋 瑛斗さん(白人小2年生)「ヘラクレスを見たぼく」

作品展 全応募作品を展示しています。「子どもの権利」について表現された力作ぞろいですので、ぜひご覧ください。

日 2月1日(木)～8日(木)

午前9時～午後10時 ※最終日のみ午後3時まで

所 百年記念ホール ギャラリー



問 こども課こども支援係(☎54-6621)

12/22



札内さかえ保育所

サンタさんと過ごすクリスマス

クリスマス会にサンタさんが登場しました。質問タイムでは「どうやって速く空を飛ぶの?」「どうしてサンタさんに気持ちが届くの?」などさまざまな飛び出す素直な疑問。

最後は一人ずつプレゼントを受け取り、満面の笑みで「ありがとう」を伝えました。



12/21



前列左から佐々木 悠真さん(札内東中3年)、梅本 大地さん(同)、高嶋 葉多さん(札内中3年)、原田 康生さん(幕別中3年)、後列左から中島 俠星さん(札内中3年)、佐藤 秀羽さん(同)、樋口 琳音さん(札内中1年)、菅野教育長

全十勝Cチーム(アイスホッケー)

全道覇者、3校7人が全国大会へ

12月10日から12日にかけて開催された第53回北海道中学校アイスホッケー大会で「全十勝Cチーム」が優勝。幕別町からは幕別中、札内中、札内東中の7人が出場し、全国大会の切符をつかみました。

教育委員会を訪れた選手を代表して、キャプテンの高嶋葉多さんは「北海道大会で優勝できて嬉しい。目標である全国優勝を成し遂げるために、3年生が中心になって今後も練習を頑張ります」と健闘を誓いました。



▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

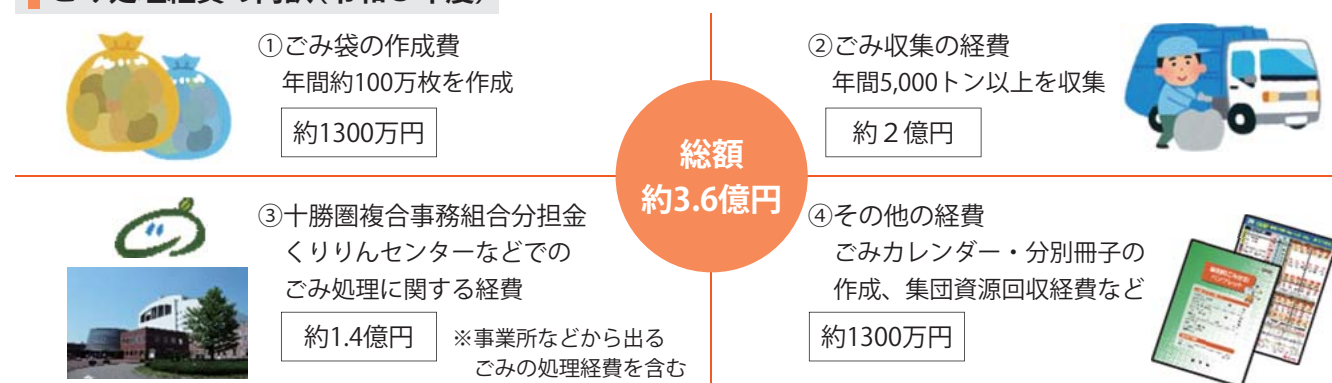


防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

◆ごみの処理経費について

幕別町のごみは、全て帯広市にある十勝圏複合事務組合（くりりんセンターなど）で処理しています。家庭から出るごみは、毎年5,000トン以上あり、令和3年度の処理経費は約3.6億円かかっています。十勝圏複合事務組合に支払っている分担金は、ごみの重さで決まっています。ごみを減量することで、処理経費を減らすことができますので、ごみの減量に取り組みましょう。

ごみ処理経費の内訳(令和3年度)



処理経費削減のポイント

ごみの減量化

分担金は、各市町村で排出されるごみの重さで決まります。3Rの実践でごみの排出量を削減しましょう。

①リデュース：無駄なごみの削減

- ・詰め替え品を使用
- ・エコバッグの使用
- ・食品ロス、生ごみの削減

生ごみの約8割は水分で、とても重いです。
排出量の削減には、十分に水を切って出すことが効果大

②リユース：再利用

③リサイクル：再資源化

- ・種類ごとに分別し、資源ごみで出しましょう

汚れている物はリサイクルできません。水洗いをし、汚れを落とすことで、資源化率の向上に繋がります。

◆家庭ごみによる火災の防止(小型充電式の電池の分別に協力ください)

広報10月号では、ごみ収集車の火災についてお知らせしましたが、くりりんセンターでも、11月25日、30日、12月8日、19日に火災が発生しました。小型充電式電池（充電して繰り返し使える電池）は、火災の原因となりますので、必ず外してから出してください。

外した小型充電式電池は、リサイクルマークの有無を確認し、リサイクルマークがあるものは、端子にテープを貼るなど絶縁処理をしてから、家電販売店やホームセンターなどのリサイクル協力店へ持ち込んでください。

リサイクルマークがないものや、判別が難しいものは、役場防災環境課、忠類総合支所地域振興課、札内支所で回収しますので、持参してください。

各種リサイクルマーク



リサイクルマークがあるかチェック！



テーマ 停電に備える

長時間にわたる停電に備えよう！

令和4年12月22日からの大雪の影響で、北海道内の広い範囲で停電が発生しました。幕別町においても停電が発生し、特に忠類地域では復旧に丸1日以上を要したところもあります。

幕別町は寒さの厳しい地域です。冬に発生する停電は命に関わることもあり得ます。普段から、電気に頼らず過ごすことのできる備えをしましょう。

防災環境課
防災危機管理係
(☎54-6601)

もしもに備えよう

防災ナビ

◆冬の停電では防寒対策が重要

平成30年に北海道で発生した停電（ブラックアウト）では、まだ気温の高い季節で防寒対策などは必要ありませんでした。

一方、冬に停電が発生した場合、対策がなければ命に関わります。電気の必要ない防寒対策を確認しましょう。

1. 停電時でも使える暖房器具の例

◇ポータブル石油ストーブ

➡マッチや電池で点火ができ、運転時に電気を必要としない。

◇カセットガスストーブ

➡入手しやすいカセットボンベで使用可能。

- 注意
- ・灯油やカセットボンベの備蓄が必要。
 - ・一酸化炭素中毒を防ぐため、こまめな換気が必要。
 - ・カセットガスは低温になると使用できない場合がある。

2. その他の防寒グッズの例

◇使い捨てカイロ

◇毛布

◇湯たんぽ

◇防寒シート

<ご案内>停電情報をLINEで確認できます

北海道電力ネットワーク株式会社では、停電情報をLINEで配信しています。

停電情報を受け取りたい地域を登録すると、停電発生・解消情報が送られてきます。地域は最大4カ所まで登録できますので、家族がお住まいの地域の情報も受け取ることができます。

北海道電力ネットワーク株式会社帯広支店
お客さまサービスグループ (☎0120-060-732)
※平日午前9時～午後5時



友だち追加は
こちらから



▶防災情報メール
二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。

touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp

◆長時間にわたる停電への備え

停電が長時間にわたると生活にさまざまな影響が出てきます。情報収集や食事、トイレなど生活に欠かせないものの対策を紹介します。

1. 情報収集・連絡手段の確保

◇携帯電話・スマートフォンの充電

➡モバイルバッテリーや車で充電することができる機器を用意しておく有効。

2. 調理器具の確保

◇カセットコンロ

➡自宅に備え付けの調理器具（IHクッキングヒーター）が使用できない場合、カセットコンロで食材の調理やお湯を確保することが可能。

3. トイレの対策

◇非常用トイレ・携帯トイレ

➡断水したときでも水を使わずに処理することが可能。

◇お風呂の残り湯

➡一般的なトイレは停電時でも断水していなければ流すことができるが、断水した場合に備えてお風呂の残り湯を捨てずに取っておくことも有効。

4. 自動車の対策

◇燃料が半分減ったら給油

➡停電時でも、車内で暖房やラジオ、テレビを使用することができるため、こまめな給油を心掛ける。
➡給電機能のある電気自動車やハイブリッド車は、電化製品を使うことが可能。

5. その他の対策

◇発電機（室内では使用不可）

➡燃料を使用するため、携行缶やポリタンクでの備蓄が必要。
➡パソコンなどの精密機器を使用する場合は、インバーター式にする必要がある。

◇ポータブル電源

➡事前に充電しておく必要がある。電気を使い切った場合は充電が必要。



▶幕別町防災公式LINE
二次元コードを読み込み「友だちに追加」で登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒@makubetsu